



【障害者週間】 日本・ブルガリア・ポーランド文化交流演奏会
 日本・ブルガリア交流開始110周年・外交関係樹立80周年・外交関係再開60周年記念
 日本・ポーランド国交樹立100周年記念 東日本大震災チャリティーコンサート



東京
 芸術
 劇場

国際親善交流 特別演奏会

32nd International Music Festival

2019.10.30 水

開演 18:30 (開場18:00)

全席指定 S: ¥6,000 A: ¥5,000 B: ¥4,000

東京芸術劇場コンサートホール (池袋西口)

東京都豊島区西池袋1丁目8-1 Tel. 03-5391-2111 (代)

6:30 p.m. WEDNESDAY, OCTOBER 30, 2019, AT TOKYO METROPOLITAN THEATRE

及川光悦 指揮

Mitsuyoshi Oikawa Conductor

Program

バッハ作曲: ヴァイオリン協奏曲 第2番 ホ長調 BWV1042
 ヴァイオリン: ミハウ・ノヴァク

BACH: VIOLIN CONCERTO No.2 IN E MAJOR, BWV1042
 Violin: MICHAL NOWAK

ブラームス作曲: ピアノ協奏曲 第1番 ニ短調 作品15
 ピアノ: リリ・ボグダノヴァ

BRAHMS: PIANO CONCERTO No.1 IN D MINOR, Op.15
 Piano: LILI BOGDANOVA

— 休憩 (INTERMISSION) —

ブラームス作曲: 交響曲 第3番 ヘ長調 作品90

BRAHMS: SYMPHONY No.3 IN F MAJOR, Op.90

演奏: モーツァルト・ヴィルトゥオーゾ祝祭管弦楽団

Mozart Virtuoso Festival Orchestra



Piano
 ピアノ

リリ・ボグダノヴァ

Lili Bogdanova

Violin
 ヴァイオリン

ミハウ・ノヴァク

Michal Nowak

Photo: 猪股政明

お問い合わせ・チケット申し込み 日本音楽文化交流協会 TEL/FAX 03-3442-2325

主催: 国際親善交流特別演奏会実行委員会 日本音楽文化交流協会 日本・ポーランド協会 TEL/FAX 03-3442-2325
 後援: 外務省・文化庁・厚生労働省・国際交流基金・日本赤十字社・ブルガリア共和国大使館・ポーランド共和国大使館・ポーランド広報文化センター・朝日新聞社・TOKYO FM
 助成: 一般社団法人 東京倶楽部
 特別協賛: meiji株式会社 明治
 協賛: Shin-Etsu 信越化学工業株式会社・みずほ証券株式会社・三菱電機株式会社・協和発酵キリン株式会社
 協力: サッポロビール株式会社・メルシャン株式会社

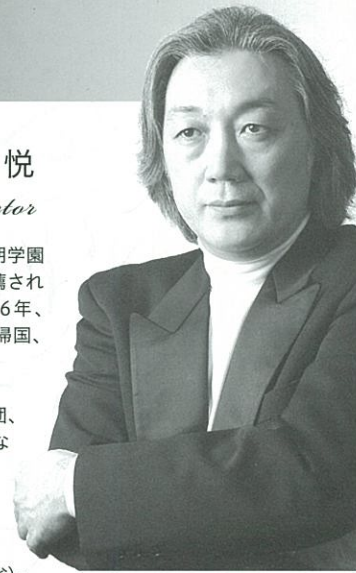
※出演者・曲目等が変更される場合がありますのであらかじめご承知お下さい。
 ※障害者、養護施設、母子家庭、高齢者、大震災避難者の方々を御招待致します。
 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。

出演者プロフィール

32nd International Music Festival

指揮 及川光悦

Mitsuyoshi Oikawa Conductor



1949年、北海道に生まれる。5歳よりピアノを学び、10歳の時、テレビ出演を機会に音楽家を志す。1967年、東京音楽大学器楽科、桐朋学園指揮教室入学。1975年8月、フランス・ニース国立音楽院主催国際指揮講習会を受け好評を博す。1975年10月、研究科在学中に推薦されパリ留学。エコール・ノルマル音楽院にてピエール・デルポー氏に師事、スコラ・カントルム音楽院指揮科・ピアノ科入学。1976年、ザルツブルグ・モーツァルト音楽院主催の国際指揮講習会を受けオトマール・スイトナー氏に師事、大いに才能を認められる。1977年帰国、故岩城宏之氏に認められ札幌交響楽団において研鑽、数多くの演奏会に出演する。1978年、小澤征爾氏に師事。

同年「札幌市芸術文化振興基金第1号」を受けアメリカ留学、小澤征爾氏のもとで研鑽を積む。

1982年、「芸術家在外研修員」として文化庁によりミュンヘンへ派遣される。受入れ先であるクーベリックのバイエルン放送交響楽団、チェレビダツケのミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、サバリッシュのバイエルン国立歌劇場管弦楽団にて各氏に師事、伝統的なドイツ音楽を吸収する。又ベルリン・フィル、ミラノスカラ座、パリオペラ座、パイロイト音楽祭、ペローナ音楽祭、ザルツブルグ音楽祭のリハーサル・本番・レコーディングに立ち会い研鑽を積む。1983年8月帰国、ただちに東響でデビュー、都響、札幌、京響、新星日響、群響、神奈川フィルで共演、放送・レコーディングで活躍。1986年7月、日中文化交流の一端として中国から招待され、中国電影楽団、上海楽団と共演、交響組曲「東京」～「こもりうた・外山雄三作曲」の海外初演をはたし熱烈な歓迎を受ける。帰国後、日本テレビ「11-PM」、FM東京「世界の音楽をあなたに」出演、中国音楽界を紹介する。1987年9月・10月、前年に引き続き中国より招待され、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとで中国電影楽団、上海電影楽団と共演して絶賛を博し、両楽団より「常任客演指揮者」の称号を贈られ両国の文化交流に大きな役割を果たす。帰国後、FM東京「音楽の森」出演。1988年9月、中国電影楽団、上海電影楽団日中平和友好締結10周年記念・常任客演指揮者就任記念として、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとで「文化使節」として公演し好評を博す。FM東京「モーニングジャーナル」・FMジャパン「ウェブキャットフィッシュ」出演。1990年6月、チェコ・スロバキア（ズリーン）マルティヌーフィルハーモニー管弦楽団にてヨーロッパ楽壇デビュー、11月、中国（北京）中国電影楽団にて故園田高弘氏と演奏会開催。12月、ソ連「チャイコフスキー交響楽団」（旧モスクワ放送交響楽団）、ウクライナ国立フィルハーモニーオーケストラ（キエフ）、ヤロスラブリフィルハーモニーオーケストラにて演奏会開催。1992年9月、中国（北京）・中国電影楽団にて日中国交正常化20周年記念特別演奏会を開催。10月、日本政府（外務省）・国際交流基金・ポーランド政府文化芸術省の援助のもとでポーランド・カトビツェ国立交響楽団と演奏会開催。1993年3月、現在世界で屈指のヴィルトゥオーゾ集団である「ロシア・ナショナル管弦楽団」にてロシアピアノ界の巨匠であるニコライ・ペトロフ氏と共演、ウリヤノフスク国立交響楽団と演奏会開催好評を博し日本・ロシアの文化交流に尽力。12月、ハンガリー文化教育省の後援のもとでフランツ・リスト音楽院大ホールにてサント・ステファン交響楽団と共演。

1994年10月、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとで前年に引き続きハンガリー・サント・ステファン交響楽団と共演。ルーマニア文化省の後援のもとでヨーロッパの中でも長い伝統を誇る名門オーケストラ「ジョルジュ・エネスク・フィルハーモニー管弦楽団」と共演し、日本・ハンガリー・ルーマニアの文化交流、両国音楽家間の親善に大きく寄与。

1996年2月、ハンガリー・ドナウシンフォニックオーケストラと共演。1997年2月、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとでハンガリー・ソルノクシンフォニックオーケストラ、3月、ロシア名門オーケストラである「モスクワ・フィルハーモニー交響楽団」と共演し好評を博す。10月、名門オーケストラである「ブルガリア国立ソフィア交響楽団」と共演。帰国後テレビ朝日「徹子の部屋」に出演。1998年4月、ポーランド・アルトゥール・ルービンシュタイン・フィルハーモニックオーケストラと共演。1999年10月、日本・ブルガリア文化月間10周年記念・国交回復40周年記念公演に招聘され「文化使節」として名門オーケストラである「ブルガリア国立放送交響楽団」と共演。2000年、「文化庁舞台芸術創作奨励賞選考委員」就任。2001年5月、名門オーケストラである「サンクトペテルブルグ交響楽団」（旧レニングラード交響楽団）と共演。2002年6月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団、ルーマニア「コンスタンツァ交響楽団・ガラツ交響楽団」と共演し大成功を収める。2002年10月、日本・ブルガリア文化月間に招聘され、「文化使節」としてブルガリア国立ソフィア交響楽団にてヴァイオリニストの天満敦子女士と共演。2004年4月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演、大成功を収め「常任客演指揮者」に就任。2005年5月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演。2006年6月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演。2009年11月、ブルガリア文化の発展と普及への功績に対して、ブルガリア共和国文化省より「名誉表彰状」と「名誉章」を授与される。2010年10月、ポーランド・トルン交響楽団と共演、ベルギー（ブリュッセル）にてトルン交響楽団と共演。2011年10月、ポーランド（ビゴドシチ）ポメラニアン・パデレフスキー国立交響楽団と共演。ベルギー（ブリュッセル）にてポーランドEU議長国就任記念コンサートに招聘されポーランド・ポメラニアン・パデレフスキー国立交響楽団と共演。2013年1月～2月、豊島区制施行80周年記念に対して「感謝状」と「豊島区文化功勞表彰」を授与される。10月～11月、社会福祉法人「東京都社会福祉協議会」社会福祉法人「横浜市社会福祉協議会」より永きに亘る福祉活動により「感謝状」を授与。東政音楽家支援20周年記念として札幌市から「感謝状」を授与する。

2014年7月、ルーマニア政府・トラヤン・バセスク大統領より「文化功績勲章」を受章。

2019年3月、ブルガリア-日本両国関係発展に対してブルガリア共和国政府・外務省より「Golden Laurel Branch（黄金の月桂樹）賞」最高位を受賞。

Violin ヴァイオリン



ミハウ・ノヴァク
Michal Nowak

1995年3月22日生まれ

7歳の時にヴァイオリンを習い始める。現在、フェリクス・ノヴォヴィエイスキ・ビドゴシチ音楽アカデミーパヴェウ・ラジンスキ教授の下で修士2年次に在籍。

これまで、国内外で多くの音楽コンクールで入賞。Igor Frolov, Petru Monteanu, Dymitr Sitkovietsky, Pavel Vernikov, Ivry Gitlis, Michael Vaiman, Zakhar Bron各氏のもとで演奏技術を研鑽。

オーストリア、スペイン、イタリア、ドイツ、ウクライナ、ベラルーシ、ロシアでの演奏経験を持ち、ビドゴシチのポモージェ交響楽団、カトヴィツェのポーランド・ラジオ交響楽団、ワルシャワの国立オペラ、大統領府にて演奏。Academia dell'Arcoのオーケストラ、Capella Thorunensis, Sinfonia Varsoviaとも共演。ポーランド文化・国家遺産省、クヤフスコ=ポモルスキ県知事、Musica-Viva基金そしてモーツァルト協会の奨学生。

Piano ピアノ



リリ・ボグダノヴァ
Lili Bogdanova

『彼女は完璧な準備を怠らず、そこに鋭い知性と繊細な感性と芸術に対する大きな覚悟が加わる』レスリー・ハワード(Leslie Howard)より(自身の理想を表現していることとして)

2014年のブルガリア国立ラジオ今年の新人音楽家に選ばれたリリ・ボグダノヴァは目を見張るような素晴らしい才能の持ち主です。リリはソリストでもあり室内楽奏者でもあり、ブルガリア、ドイツ、オーストリア、ルクセンブルグ、スイス、イギリス、スロバキア、セルビア、ギリシャ、日本そしてアメリカでも演奏しています。ここ数年の活躍の中で注目すべき演奏は以下の通りです。

●東京芸術劇場でモーツァルト・ヴィルトゥオーゾ祝祭管弦楽団とベートーベンの三重協奏曲 ●ソフィア・フィルハーモニー・オーケストラとクララ・シューマンのピアノ協奏曲 ●ジョージア、アメリカでコロムビア国立オーケストラとベートーベン第1ピアノ協奏曲およびパッパピアノ協奏曲短調 ●ベルリンコンツェルトハウスでの『ESブラームス』マラソンにて、ドイツテレビジョン放送やRBBラジオなどのライブ放送

リリは数々の以下のような賞を国内外で受賞しています。

●キプロスのエヴァンゲリア・ジャリ(Evangelia Tjjarri)国際コンクールグランプリ ●イタリアのチッタ・ディ・アイローア(Citta di Airola)国際コンクール1等 ●ララー・メリヤム妃(Princess Lalla Meryem)記念国際コンクール特別賞 その他。

リリは以下の基金より奨学金を獲得しています。

●ブルガリアのためのアメリカ基金 ●Clavate基金 ●Deutschlandstipendium基金 ●Lucia-Löser-Stiftungなどです。

2014年に、リリはドビュッシーやフランクの曲でデビューCDをリリースしました。リリは国立音楽学校でエミリア・カネヴァ(Emilia Kaneva)氏と共に学び、その後ソフィア国立音楽アカデミーにてボリスラヴァ・タネヴァ(Borislava Taneva)氏に師事します。そして、エラスムス留学プログラムの制度で、イタリアのカターニアのV.ペリーニ音楽大学へ留学し、そこで(Daniele Petralia)氏に師事します。現在はベルリンに住み、ハンスエスラー音楽学校(the Hochschule für Musik, Hanns Eisler)で、エルダー・ネボルシン(Eldar Nebolsin)氏のもとで学んでいます。以下にリリの音楽教育に関わった音楽家の名前を挙げます。

●(Alan Fraser) ●ディミトリー・バシキエフ(Dmitrii Bashkirev), ●(Claudio Martinez Mehner) ●(Peter Nagy)